

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年12月18日

計画の名称	日高川町防災・減災のための体制づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	日高川町												
計画の目標	近い将来高い確率で発生するとされている「東海・東南海・南海3連動地震」や「南海トラフ巨大地震」による被害を軽減し、併せて子どもの安全対策を推進するため、ソフト・ハード両面で防災・減災のための体制づくりを推進する。 なお、日高川町全域は、平成26年3月28日発表の南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	832	A	780	B	0	C	52	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	6.25	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30末)
1	防災・減災体制の拠点となる防災センターを整備し、防災体制及び地形を生かした救援物資の集積・運搬などの機能強化を図る。 情報の伝達・収集及び避難支援体制の充実、備蓄倉庫の整備、救援物資の集積・搬送の強化の割合	80%	%	100%
2	地震による避難、津波による浸水が想定される小熊地区の避難者に対する新たな緊急避難場所を整備する。 地震による避難、津波による緊急避難施設への避難可能人数の割合	80%	%	100%
3	川辺西小学校周辺の子どもの安全の確保を図る。 川辺西小学校周辺の子どもの事故件数の減少	0件	件	0件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	日高川町	直接	日高川町長	-	-	都市防災総合推進事業(小熊地区)	避難路の整備(L=160m)	日高川町						63	-	
	A13-002	都市防災	一般	日高川町	直接	日高川町長	-	-	都市防災総合推進事業(小熊地区)	日高川町防災センターの整備	日高川町						717	-	
											小計						780		
											合計						780		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	日高川町	直接	日高川町長	-	-	防災啓発事業（小熊地区）	日高川町防災センター展示室 設備整備	日高川町						52	-		
		基幹事業と効果促進事業により、知識習得及び避難行動体験を中心に、日常の防災意識を高めることができる。																		
											小計						52			
											合計						52			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 日高川町により事後評価を実施。	事後評価の実施時期 令和2年12月
	公表の方法 日高川町ホームページに公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	日高川町防災センターを整備することにより、防災体制及び救援物資の集積・運搬などの機能強化を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後は、ソフト対策を中心に住民の防災意識の向上に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	0件
	最終実績値	0件